

平成28年3月30日
あぶくま信用金庫

「浪江町伝統芸能映像記録作成事業実行委員会」様に対する 『しんきんの絆』復興応援プロジェクト助成金の贈呈について

平成28年3月30日(水)、浪江町役場 二本松事務所にて、当信用金庫の推薦による『しんきんの絆』復興応援プロジェクト助成金※1の贈呈式が行われ、「浪江町伝統芸能映像記録作成事業実行委員会」様に目録が手渡されました。

浪江町は、福島第一原発事故により、避難指示区域に指定され、震災前20～30団体あった民俗芸能団体は、現在でも7団体しか再開されておらず、継承されてきた伝統芸能が存続の危機にさらされている状況にありました。

この様な中、平成26年4月に、伝統芸能の継承と、住民帰還後の伝統芸能の復活に資する事を目的として同委員会が設立されました。

同委員会では、外部委託していた映像記録作成の内製化を図り、今までより多くの映像記録を継続的に作成できる体制への転換を計画しており、当信用金庫に相談がありました。

当信用金庫は、『しんきんの絆』復興応援プロジェクトを活用し、映像記録の内製化に必要な撮影・編集機材等の購入にかかる助成を行うことで、存続の危機にさらされた地域の伝統芸能の継承および復活に資するだけでなく、住民帰還後の地域コミュニティ再生にも貢献できるものと考え、同委員会を推薦し、助成が決定いたしました。

当信用金庫は、今後も地域の復旧・復興ならびに地域経済の活性化に貢献してまいります。



【目録の贈呈】



【記念撮影】

※1『しんきんの絆』復興応援プロジェクトは、東日本大震災により被災した地域の復興のために、民間非営利組織が行う草の根の日常生活の再建や地域コミュニティ・文化の再生活動など「地域の絆」を繋ぐ活動を応援するプロジェクトです。

平成26年度に引き続き、平成27年6月から、全国の信用金庫において、東日本大震災により被災した地域の復興の一助として、被災者一人ひとりの日常生活の再建や地域コミュニティ・文化の再生活動等を支援することを目的に、募集総額の0.20%を寄附する『しんきんの絆』復興応援定期積金Ⅱの取扱いを開始し、約1,367億円のご契約をいただきました。

これにより、総額2億7,352万円が、信金中央金庫を通じて、平成28年3月7日に認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが運営する「東日本大震災現地NPO応援基金(特定助成)」に設置した『しんきんの絆』復興応援プロジェクトに寄附され、当該寄付を原資として、助成事業が行われております。